

練馬区 旧内田家住宅

きゅううちだけじゅうたく



古民家情報

建築年代: 明治20年代

規模: (主屋部) 桁行8.5間・梁間6間

(角屋) 桁行2.5間・梁間3.5間

構造: (主体部) 整形四つ間取り+角屋
寄棟造り・茅葺き

練馬区指定有形文化財

旧内田家住宅は、明治 20 年代初めに練馬区中村に建てられた農家の主屋です。平成 19 年に解体され、平成 22 年 3 月、練馬区立石神井公園ふるさと文化館隣接の池淵史跡公園内に、移築復元されました。寄棟造の茅葺屋根で、屋根上部の棟飾りは、主屋に箱棟、角屋に「寿」の文字の装飾がされたグシが設けられています。内部は、太めの柱を用い、ケヤキの大黒柱やマツの太く曲がった化粧梁のあふる豪放な造りの土間空間と、やや細めの柱を用い、青い漆喰で仕上げられた床の間と違い棚、書院を持つ繊細な造りの座敷空間とが併存する構造となっています。明治中期の有力農家としての格式が感じられる古民家です。

ご利用案内・アクセス

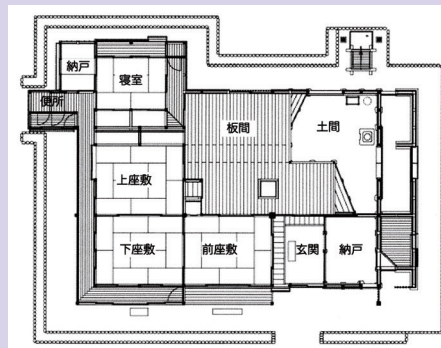
開 9:00~18:00 (休館日: 月曜日<月曜日が祝休日の場合は翌平日休館>、年末年始(12月29日~1月3日)、臨時休館日) **料** なし

所 練馬区石神井町 5-13 練馬区立池淵史跡公園内

交 西武池袋線「石神井公園」駅下車徒歩 15 分・西武新宿線「上井草」駅徒歩 25 分

問 練馬区立石神井公園ふるさと文化館 Tel.03-3996-4060 Fax.03-3996-4061

その1! 間取り



整形四間取りの主体部に、角屋が付属します。生活様式の変化等に伴い、間取りの変更や改築を重ねながら、ごく近年まで住宅として使用されてきました。解体時の調査では、部材の一部に江戸時代の古材

も使われていることがわかりました。建築当初から角屋が存在したと推測されること、土間が2つの空間に分離していることなどが特徴です。手の込んだ意匠や、ケヤキの大黒柱や差鴨居に使われた高級な部材などに、建築当初の様子を見ることができます。復元にあたっては、人々の記憶に残り、生活感が身近に感じられる昭和戦前期の姿に再現しました。

見どころポイント!

その2! 屋根に注目



角屋のグシには「寿」の意匠が施されています。

その3! 季節を感じる



ちがや馬飾り

正月飾りや小正月の繭玉飾り、七夕に行う「ちがや馬飾り」、十五夜飾り、十三夜飾りなど、練馬区域で近年まで受け継がれてきた年中行事の再現を行っています。